

科学技術・イノベーション基本計画の検討の方向性(案)(概要)

参考資料4-1
科学技術・学術審議会
学術分科会(第80回)
令和2年9月4日

“基本的考え方”

- ◆ 次期基本計画は、SDGsの達成を含めた **人類の幸福の最大化** と **安全・安心の確保** に資するべく、全ての国民に科学技術・イノベーションの果実を届ける「道しるべ」
- ◆ Society 5.0の具体像を共有し、スピード感と危機感を持ってこれを実装するため、国を挙げて新しい社会を牽引する科学技術・イノベーション政策を実現

現状認識

社会の質的・量的な変化

- ✓ デジタル技術の加速度的な発展・普及と科学技術・イノベーションを中核とする国家覇権争いの激化、新たな世界秩序の模索
- ✓ 経済社会活動を牽引する主体がIT企業に
- ✓ 人口構成や雇用環境の変化に伴う問題の顕在化と多様性の重視
- ✓ 地球環境問題などSDGsがグローバルアジェンダに

科学技術・イノベーション政策の振り返り

- ✓ Society 5.0の具体化の前提となるデジタル化について、スピード感と危機感の欠如による実装の遅れ
- ✓ 第5期基本計画における **目標の未達** と **研究力の低下**
- ✓ コロナ禍を受けた科学技術の重要性の **国民的高まり**

科学技術基本法の改正

- ✓ 「人文・社会科学」の振興と、人文・社会科学と自然科学を融合した「総合知」の重視
- ✓ 「イノベーション創出」の法目的への位置づけによる新たな価値創造と社会システム変革
*イノベーション創出の追加は、基礎研究力を軽視するものではない

次期基本計画の方向性

- 1 Society 5.0の **具体化**
- 2 **スピード感**と **危機感**を持った **社会実装**
- 3 **人類の幸福**や **感染症・災害**、**安全保障環境**を念頭に置いた科学技術・イノベーション政策と **社会との対話・協働**
- 4 **研究力**の強化と官民の **研究開発投資**の在り方
- 5 新しい社会を支える **人材育成**と **国際化**

コロナ禍の経験等を踏まえ

社会を変革するトランスフォーマティブ・イノベーションの創出が必要

▶▶▶ **イノベーション力の強化**

データを含めた知の重要性が高まる中で総合知による科学技術の振興が必要

▶▶▶ **研究力の強化**

科学技術・イノベーションのエコシステムを機能させる仕組みの構築が必要

▶▶▶ **人材・資金の確保**

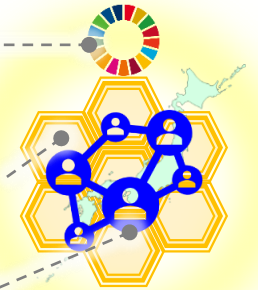
Japan Model

- Society 5.0は、SDGsを目指すに当たり、**デジタル化・データ連携・活用**を核とし、**日本の価値観(共益*)**を盛り込むことで実現される知識集約型社会
- この工程が「Japan Model」と呼ぶべき我が国の戦略・方向性
*日本の倫理観・社会観から生まれる「信頼性」に基づく「分かち合いの価値観」や「三方よし」の考え方

Society 5.0 =

デジタル化・データ連携・活用

日本の価値観(共益)



ポストコロナ時代の世界秩序模索の期間において、日本が国際社会をリードするには、新たな**社会モデル**と**戦略・方向性**を言語化し、**世界に認知される**ことが重要

Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策

Society 5.0を実現する社会変革を起こすイノベーション力の強化

- (1) **行動変容**や**新たな価値**を生み出す社会システム基盤の構築
- (2) 社会変革を起こす土壌となる**イノベーション・エコシステム**の強化
- (3) 非連続な変化にも対応できる**安全・安心**で**強靱な社会システム基盤**の構築
- (4) 持続可能な社会の実現に向けた**戦略的な研究開発**の推進と**社会実装力**の向上

→ ☆都市・地方を問わず個人のニーズに応じた多様な働き方・暮らし方を実現 ☆失敗を許容するセーフティネットを構築 ☆国民の生命と財産を守る ☆様々な社会的な問題を世界に先駆けて解決

知のフロンティアを開拓しイノベーションの源泉となる研究力の強化

- (1) **新たな研究システム**の構築(デジタル・トランスフォーメーション等)
- (2) 知のフロンティアを開拓する**多様で卓越した研究**の推進
- (3) 変革の原動力となる**大学の機能拡張**
- (4) **ミッションオリエンテッドな戦略分野**の研究開発の推進

→ ☆研究者が時間や距離の制約を超えて研究に没頭、市民など多様な主体が研究に参画 ☆若者が展望を持って研究者を目指す ☆大学が独自性と個性を発揮 ☆社会変革に先手を打つ

新たな社会システムに求められる人材育成と資金循環

- (1) 新たな社会で活躍する「**変化対応力**」や「**課題設定力**」を持つ人材の育成
- (2) 知の創出と価値の創出への投資がなされる**資金循環環境**の構築

→ ☆教育の個別最適化や複線型のキャリアパス等により全ての個人のポテンシャルを解放 ☆多様な財源による投資が次世代の研究開発に回り、大学等の基礎研究と相まって、イノベーションの創出を促進